

報告

第4回第5期瀬谷区地域福祉保健計画策定懇談会

令和7年11月6日(木) 瀬谷区役所5階大会議室

第5期瀬谷区地域福祉保健計画(暮らしやすいまちづくりの計画)(計画期間:令和8~12年度)の最終案、ならびに計画策定の進め方や区民・関係者・団体からの意見聴取方法等について、地域団体、医療機関、行政等の策定委員(14名)による意見交換を行いましたので、その一部をご報告します。

今回の懇談会をもって策定懇談会は終了となります。今後は、いただいたご意見を踏まえ、計画を取りまとめてまいります。

第5期瀬谷区地域福祉保健計画 最終案 および計画策定の振り返りについて



- 二次元コードやピクトグラム、せやまるファミリー等が載っており区民の皆さんに親しみやすい計画になった。今後は、多くの人に知ってもらえるPR方法が課題である。
- 瀬谷区地域福祉保健計画も20年が経過しているが、まだまだ多くの人が知らない。地区別計画も一部の人が策定している実態もある。とにかく自分たちの住んでいるまちをどうしようかと考えてもらえるよう、進めていってほしい。
- 「外国にルーツがある人」という言葉が多く出てきて良かった。外国にルーツのある人は増えてきているが、知り合える機会が少ないので、この計画を読んだ方が、ちょっとでも意識してもらえると良い。
- 区民の皆さん、特に子どもの意見を多く反映し素晴らしい計画ができたが、策定して終わりではないので、推進・振り返りが大切である。
- 子どもたちが地域で活躍できる機会づくりを、私たち皆でやっていきたい。
- 今後は、障害のある子にも焦点をあてて聞き取りを行ってほしい。その際、ざっくばらんに話を聞ける環境設定を行って、話を聞いてほしい。
- 福祉の観点から、高齢者、障害者、子ども等すべての人が安全で安心に生活できるハード面での様々な取組の生活環境づくりについても力を入れてほしい。

- ・地区別計画も第4期計画をただ踏襲するのではなく、枝葉をつけて計画を策定していくことができた。
- ・地区別計画は、地区別計画の推進や地区の課題解決をするだけにとどまらず、全体計画を推進するための計画でもある。
- ・瀬谷区全体で行っていく取組（全体計画）も、各地域（地区別計画）が、検討したり区全体へ意見を言ったりしていくことも、連携・協働の関係なのではないか。
- ・瀬谷区の基礎（統計）データのページも見やすくなった。瀬谷区には様々な人が生活していることを知り、この計画と共にデータも区民の皆さんにお伝えし、どのようにお互いに支え合っていくかを考えていくことも重要である。
- ・今後の懇談会では、普段の肌感覚からの意見交換だけではなく、データに基づいて議論していくことをしてはどうか。

学識経験者からのコメント

第5期瀬谷区地域福祉保健計画（暮らしやすいまちづくりの計画）では、福祉保健を支えていける他の分野にも目を向けてまちづくりをやっていきましょう、という市計画の趣旨を盛り込み、地域づくりの中心となる計画になっている。

12 地区の地区別計画は、アンケートを取り広くニーズを拾ったり、科学的な形で地域課題を明らかにしたりして計画を策定しているのがよく分かる計画である。



瀬谷区地域福祉保健計画キャラクター
せやちゃん

計画策定にあたり区民意見募集も含め皆様に多くの貴重なご意見・ご提案をいただき、ありがとうございました。

本計画は、令和8年2月21日（土）の「瀬谷区地域福祉保健計画推進シンポジウム」で公表していきます。その後、ホームページ等に掲載するとともに、区役所・社会福祉協議会・地域ケアプラザ等で計画冊子を配布しています。
みんなで暮らしやすいまちづくりを目指しましょう！



- ・瀬谷区地域福祉保健計画（暮らしやすいまちづくりの計画）素案
- ・過去の懇談会の報告書（バックナンバー）